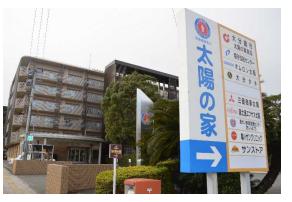
太陽の家と共同出資会社

















障がいのある人の雇用の実態

9		•		P
		総数(組)	18~64歳 ஊ	雇用者数母
0	身体障がい	436.0万人	101.3万人 (在宅)	35.6万人
	知的障がい	109.4万人	58.0万人 (在宅)	13.4万人。
	<u>米青ネ申『章力ペしヽ</u>	419.3万人	206.0万人 (25~64歳)	8.8万人
	合計	964.7万人	365.3万人	57.8万人

⁽注1)厚生労働省「生活のしつらさなどに関する調査」(平成28年)の推計に基づく。

⁽注2)身体障がいと知的障がいは「在宅」障がいの人数。「在宅」障がいとは、施設入所者以外。 精神障がいは25歳~64歳の人数。医療機関を利用した患者数。

⁽注3) 厚生労働省「令和2年障害者雇用状況の集計結果」に基づく。

障がいのある人の雇用のメリット!

新しいアイディア

改善が生まれる

管理職、社員が変わる

仕事のシステムが変わる

新しいコミュニケーションが生まれる

創意工夫

*人に優しい企業ができる

あたりまえの社会を つくるための条件

1.日々の暮らし の基盤づくり

4.相互の理解と交流

3.社会へ向けた自立の基盤づくり

2.住みよい環境 の基盤づくり

共生社会とは

<相互の理解>

障がいのない人

なにが出来るのか

なにもできない

面倒だ

怖い

見下す

出来るためには出来ないではなく

障がいのある人

当たり前だ

何も分かってくれない

上から目線

配慮がない

遠慮する、まあいいか

など

「厳しさをもって 普通に接する」

など

「感動される人から 感謝される人へ」

世に身心障がい者はあっても

仕事に障害はあり得ない

太陽の家に働く者は

被護者ではなく

労働者であり

後援者は投資者である

中村裕先生遺訓